

播種性血管内凝固症候群を合併した急性腎盂腎炎における 遺伝子組み換え型ヒト可溶性トロンボモジュリンの有効性に関する 後方視的考察 について

1. 研究の対象

2015年1月～2019年12月迄（5年間）に当院救急搬送後に、播種性血管内凝固症候群合併急性腎盂腎炎と診断され、トロンボモジュリン投与等集学的治療にて生存退院した患者さま10例を対象とします。

2. 研究目的・方法

【目的】

大手前病院に救急搬送され、重症腎盂腎炎と診断されトロンボモジュリン製剤投与を含む集学的治療を施行し良好な臨床経過を得た十例の臨床的特徴を明らかにすることで、腎盂腎炎発症時にいかなる具体的症状が出現し、実際に施行した加療内容を詳細に顧み、特にトロンボモジュリン製剤の有用性に関して後方視的に検討することを目的としています。

【方法】

対象者として登録された患者さまの電子カルテ等の診療録より、情報を収集し検討します。
研究期間は2023年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

登録された患者さまの診療録より、年齢、性別、既往歴、服薬歴、受診時症状、来院時所見、確定診断、入院後治療内容、入院後転帰などに関して情報を収集し、調査します。

* この研究では、試料は取り扱いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

【連絡先】

研究責任者： 甲斐沼 孟 （ 救急科 ・ 医師 ）
施設名： 国家公務員共済組合連合会大手前病院
住所： 〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-5-34
電話番号： 06-6941-0484（代表）

（作成日：2021年1月29日）